

報告事項シ

企画展「楊谷と元旦」の開催について

企画展「楊谷と元旦」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成22年4月22日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

企画展「楊谷と元旦」の開催について

1 展覧会名	楊谷と元旦 - 因幡画壇の奇才 -
2 会 期	平成22年5月22日(土)～6月20日(月)
3 会 場	鳥取県立博物館 第1・2・3展示室
4 主 催	鳥取県立博物館、文化庁
5 協 賛	日本通運株式会社鳥取支店 株式会社モリックスジャパン 三和商事株式会社 株式会社吉備総合電設
6 観 覧 料	一般600円(前売、団体400円)
7 概 要	江戸時代後期に鳥取と深いつながりを持ち、独自の画風を展開した片山楊谷(1760～1801)と島田元旦(1778～1840)という二人の画家を取り上げ、彼らの画業を広く紹介します。二人は伝統的な流派とは異なる新奇な画風によって知られ、多様で豊かな因幡画壇の形成に寄与しました。二人の作品約120点に加え、彼らに影響を与えたと考えられる中国の画家や谷文晁などの周辺の画家の作品も併せて展示します。

1 展示構成と見どころ

- (1) プロローグ ～楊谷のルーツ～ (沈南蘋^{しんなんびん}など中国の画家たちの作品を展示)
【見どころ】沈南蘋の迫力ある作品「麒麟図」(長崎歴史文化博物館蔵)
(本紙の大きさ138.8×161.5cm)
- (2) 楊谷の画業 ～洞楊谷から片山楊谷へ～ (楊谷の掛軸や屏風を年代順に展示(50点程度))
【見どころ】銀地に墨画で描いた屏風「龍虎図屏風」(個人蔵)や、円山応挙「龍虎図」(個人蔵)など
- (3) 兵庫県養父市・山路寺の襖絵20面(兵庫県指定保護文化財)を公開
【見どころ】楊谷の画業の集大成である山路寺の襖絵20面を再現展示
- (4) 元旦の画業 ～谷元旦から島田元旦へ～ (元旦の掛軸や屏風を年代順に展示(50点程度))
【見どころ】元旦の油彩画「黄初平図」^{こうしょへいず}(神戸市立博物館蔵)や、子孫に伝わる「幽霊図」など
- (5) 蝦夷地への渡航 ～元旦の風景写生図の全容～ (元旦が蝦夷で描いた風景スケッチなど)
【見どころ】2点の重要文化財を展示
(谷文晁「公余探勝図巻」^{こうよたんしょうずかん}(東京国立博物館蔵)、谷文晁「木村兼葎堂像」^{けんかどう}(大阪府蔵))

2 関連事業

日時	名称	講師
5月29日(土) 14:00～	《特別講演会1》 「因幡画壇の黄金時代はいかにして作られたか」	成澤 勝嗣氏 (早稲田大学文学学術 院准教授)
6月12日(土) 14:00～	《特別講演会2》 「風景への熱情 - 江戸時代の山水癖(マニア)と 谷元旦 -」	内山 淳一氏 (仙台市博物館学芸室 長)
5月22日(土) 14:00～	《担当学芸員によるギャラリートーク》	当館学芸員
6月5日(土) 14:00～	《担当学芸員によるアートセミナー》 「謎の絵師・片山楊谷」	当館学芸員
6月19日(土) 14:00～	《担当学芸員によるアートセミナー》「谷元旦から 島田元旦へ -『蝦夷紀行』を中心に -」	当館学芸員